

死亡災害ゼロ・アンダー190 伊勢

令和5年
5月号

令和5年 労働災害発生状況

伊勢労働基準監督署
4月末速報値

伊勢労働基準監督署管内（伊勢市、鳥羽市、志摩市、度会郡）における令和4年（確定値）の休業4日以上¹の死傷者数（新型コロナウイルス感染症に係る疾病者を除く。）は図表のとおり、死亡者数は0人、休業4日以上¹の死傷者数は63人です。

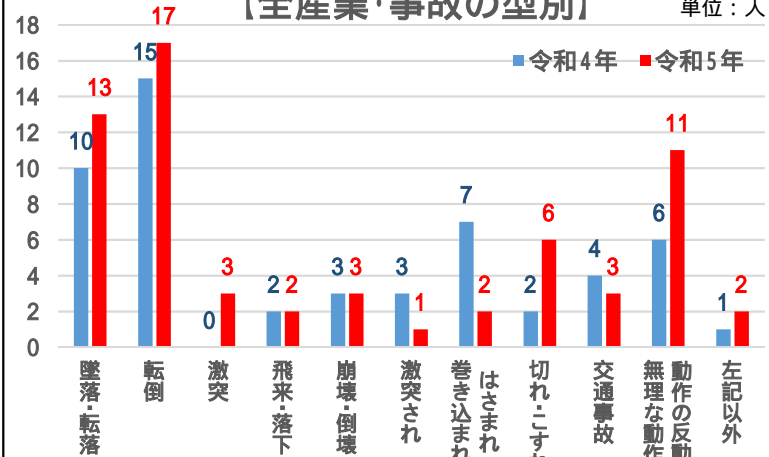
全業種合計では、10人、18.9%の大幅増となり、4月の1か月で37件もの休業4日以上¹の労働災害が報告されています。業種・事故の型別においても全体的に件数が増加しており、この労働災害増加に歯止めをかける必要があります。

令和5年度は第14次労働災害防止計画の初年度です。三重労働局では「死亡災害ゼロ」を目指し、14次防期間中の死亡者数を5%以上減少（71人以下）させ、死傷者数2,000人未満（「アンダー2,000」）を目指し、死傷者数を2022年と比較して2027年までに減少に転ずる（2,316以下に減少させる。）こととしています。

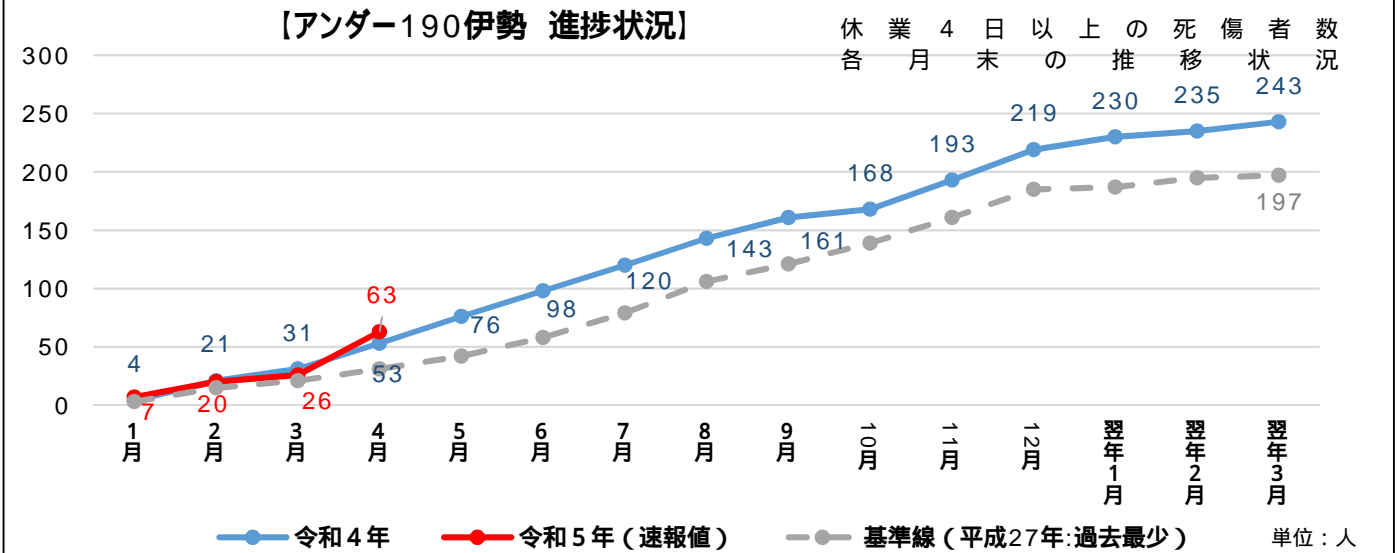
【令和5年 休業4日以上¹の死傷災害発生状況 伊勢署】

	令和4年		令和5年		前年比	
	死亡	死傷	死亡	死傷	(死亡)	(死傷)
全業種		53		63	+10	+18.9%
製造業		9		11	+2	+22.2%
建設業		5		8	+3	+60.0%
道路貨物運送業		1		2	+1	+100.0%
林業		2		2	±0	±0.0%
小売業		9		9	±0	±0.0%
社会福祉施設		8		7	-1	-50.0%
旅館業		6		9	+3	+50.0%

【全産業・事故の型別】



【アンダー190伊勢 進捗状況】



FC.ISE-SHIMA 選手に対し、SAFE サポーター養成研修を実施

伊勢労働基準監督署では、令和4年から地元サッカーチームであるFC.ISE-SHIMA と労働災害防止に関する協定を締結し、職場のパトロールの実施等を行ってきました。

当該取組の一環として、伊勢労働基準監督署は、FC.ISE-SHIMA 選手に企業・ファンの皆様に労働災害防止の周知啓発を進めていただく「SAFE サポーター」に就任していただくため、令和5年5月18日に「SAFE サポーター養成研修」を伊勢フットボールヴィレッジにて実施しました。

研修内では、伊勢労働基準監督署の安全衛生課長である佐藤が、協定の趣旨、労働災害と労働災害防止対策の歴史、墜落・転落災害と行動災害（転倒・腰痛災害等）を防止するための対策の違い、熱中症対策などについて学びました。

選手の皆様には、今後 SAFE サポーターとして、自らが勤める事業場内のみならず、FC.ISE-SHIMA の活動を通じ、一般の方々にも労働災害防止を労使の協力により実現するための取り組みを周知していただく予定です。

